

図書館インフォメーション

南部町立図書館 名誉館長委嘱式



令和5年2月4日(土)に、**南部町立図書館名誉館長委嘱式**が行われ、宮西達也氏が名誉館長に就任しました。当日は、佐野町長をはじめ、たくさんの方にご来館いただき、委嘱式は大いに盛り上がりました。

午後には、宮西名誉館長によるお話し会も開催され、会場に集まった子供達や保護者の方々、県外から遊びに来てくれたファンの笑顔があふれる会になりました。

館内には **宮西名誉館長監修の記念ジオラマ**も設置してありますので、ぜひ、ご来館ください。



4月の図書館の予定

- ・乳幼児リトミック教室
4月5日(水)(10:30~11:30)
- ・乳幼児おはなし会 **のんたんの部屋**
4月12・19・26日(水)(10:45~11:30)



※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



美術館 (企画展の紹介)

さわらび 南部窯 早蕨展

毎年恒例の【南部窯 早蕨】展示会を今年も実施いたします。

町内で絵画に向き合う南部窯 早蕨の取り組みの成果をどうぞご覧ください。

会期 : 3月19日(日)~4月9日(日)

開館 : 9:30~17:00(入場16:30)

(最終日は15:00まで)

休館日: 毎週月曜日と3月22日(水)

今月の新刊情報

よき時を思う

宮本 輝 著
集英社



祖母の90歳の記念の晩さん会。そこに秘められた過去の記憶。孫の綾乃は祖母の生涯を辿り、語られずにきた苦難と情熱を知る。

名探偵のままでいて

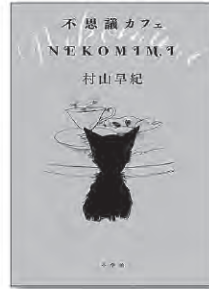
小西 マサテル 著
宝島社



孫娘の持ち込む様々な謎に挑む認知症の祖父。日々の出来事の果てにある真相とは。不可能犯罪に対する名推理を披露する連作ミステリー。

不思議カフェNEKOMIMI

村山 早紀 著
小学館



毎日こつこつと働き、余暇には本を読み、紅茶をいれて音楽を聴く。つましく生きてきた律子に人生の終盤、ある奇跡が訪れる。小さな祈りや命を大切にすくい上げてゆく物語。

木挽町のあだ討ち

永井 紗耶子 著
新潮社



雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、みごとなあだ討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相とは。

荒地の家族

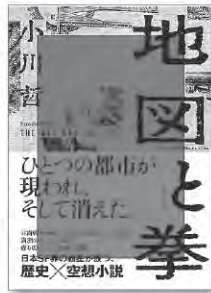
佐藤 厚志 著
新潮社



あの災厄から10年余り。生活も仕事道具もさらわれ、妻を喪った男はその地をさまよいつづけた。仙台在住の書店員作家が、止むことのない濁きと痛みを描く。第168回芥川賞受賞作。

地図と拳

小川 哲 著
集英社



日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満州の名もない都市で知略と殺りくが繰り広げられた。日本SF界の新星が放つ歴史×空想巨編。第168回直木賞受賞作。

ぼけの壁

和田 秀樹 著
幻冬舎



「ぼけ＝脳の老化」の2大原因である認知症と老人性うつについて、症状、治療法、予防法などを解説し、脳の健康寿命を延ばす心得を紹介する。

102歳、一人暮らし。

哲世おばあちゃんの心も体もさびない生き方

石井 哲世・中国新聞社 著
文藝春秋



物事は良いほうに考える、喜びの表現は大きく。健康で長生きするための習慣や「うまいこと老いる」極意を紹介。自分らしく心をご機嫌に保つヒントが満載。

ベストリーダー 2022

今年度、南部町立図書館（南部・富沢両館）で最も読まれた本をご紹介します。利用者の皆様にとって、本を通して自分の世界を拓け、希望を見つけるきっかけとなりますように。職員一同図書館でおまちしております。

- 1、「80歳の壁」和田秀樹著 幻冬舎
- 2、「70歳が老化の分かれ道」和田秀樹著 詩想社
- 3、「世界の『頭のいい人』がやっていることを1冊にまとめてみた」中野信子著 アスコム
- 4、「三千円の使い方」原田ひ香著 中央公論新社
- 5、「何がおかしい」佐藤愛子著 中央公論新社
- 6、「1日1杯脳のおそうじスープ」内野勝行著 アスコム
- 7、「60歳すぎたらやめて幸せになれる100のこと」宝島社
- 8、「老けない人は何が違うのか」山岸昌一著 合同フォレスト
- 9、「カムカムマリコ」林真理子著 文藝春秋
- 10、「母性」濱かなえ著 新潮社
- 11、「ヒトの壁」養老孟子著 新潮社
- 12、「ビジネス書ベストセラーを100冊読んで分かった成功の黄金律」堀元見著 徳間書店
- 13、「ジェイソン流お金の増やし方」厚切りジェイソン著 ひあ
- 14、「時計屋探偵の冒険」大山誠一郎著 実業之日本社
- 15、「宙ごほん」町田そのこ著 小学館
- 16、「独裁者プーチンはなぜ暴挙に走ったか」池上彰著 文藝春秋
- 17、「地味なお金の増やし方」佐藤敦規著 クロスメディア・パブリッシング
- 18、「カレーの時間」寺地はるな著 実業之日本社
- 19、「古本食堂」原田ひ香著 角川春樹事務所
- 20、「ラプカは静かに弓を持つ」安壇美緒著 集英社